Educational Lounge

事業案内・執筆編集レギュレーション

EDUCATIONAL LOUNGE

知の伝達、知の継承

今から15年ほど前、大学入学と同時にアルバイト講師として塾・予備校の世界に足を踏み入れて以来、数多くの「受験生」と接してきました。その中で出会った一人ひとりにそれぞれの思いがあり、物語があります。不安や逆境と戦いながら、時には後悔しながら、それでも前を向いて何とか未来を切り開こうと必死になっていた、そんな受験生たちの姿が目に焼きついています。

私たちを取り巻く社会情勢や環境が大きく変化している昨今、厳しい状況下に置かれながらも自身の将来を切り開くために努力を重ねる受験生の姿は以前と変わることなく存在しており、その眼差しは私たち「大人」のあるべき姿を映し出してくれているようにすら感じます。

成人年齢が引き下げられたことに伴い、青少年はこれまで以上に早い段階で自らの人生の選択を迫られることになりました。多くの場合において、「何かを選ぶ」ということは、同時に「何かを選ばない」ことを意味します。より後悔の少ない選択をするためには、手元にある選択肢の多さや見えている世界の広さ、すなわち自分の中にある「判断基準」が大いに越したことはないでしょう。私たちは従来より広い意味での「教育」を通してその選択肢を増やし、世界を広げていくサポートをしていきたいと考えています。

私たちはこのEducational Loungeというメディアを通して、「『教育』を通じて、人々が文化を継承し、自らの未来を自分の手で切り開ける社会を実現する。」というビジョンのもとに、私たち自身が先人たちに導いてもらってきた者として、手にしてきた叡智を私たちが次世代へと継承するべく行動すると同時に、継承者としての自らの役割を見失うことなく、常に新たな知を求め続けます。

一般社団法人文華樹　代表理事
Educational Lounge 代表
羽場雅希

©2024 Educational Lounge All rights reserved.

事業概要

大学受験生向けWebメディア「Educational Lounge」

項目	内容
名称	Educational Lounge
ドメイン	educational-lounge.com
URL	https://www.educational-lounge.com
ドメイン取得日	2018年9月11日
サービス公開日	2018年11月8日
概要	主に大学受験生・指導者を対象としたWebメディア。現役予備校講師を中心とした執筆陣が学習法・教科科目コラムを発信する。

コンテンツ制作方針

▶ 専門性にこだわった情報提供

「本当に信頼できる情報」の提供にこだわり、予備校講師を中心とした発信者が自らの指導経験やデータに基づいた情報を発信する。「入試で点数さえ取れれば良い」という価値観ではなく、本質的な情報を発信していく。

▶ 信頼できる情報提供

曖昧な情報を提供するのではなく、自らの専門性・指導経験に基づき、ユーザーに信頼できる情報を届ける。受験勉強を通して人生と向き合う価値(Value）を提供する。

▶ 教育水準の底上げに資する情報提供

Educational Loungeを指針として学習することで、「受験勉強」のイメージが変わり、モチベーションが維持されるのみならず、指導者にとっても価値あるコンテンツとなり、教育・情報格差の是正、教育水準の底上げにつながるコンテンツを作り続ける。

各種SNS

X（旧Twitter）：https://twitter.com/lounge_edu
Instagram：https://www.instagram.com/educational.lounge/
Facebook：https://www.facebook.com/EducationalLounge/

ロゴ

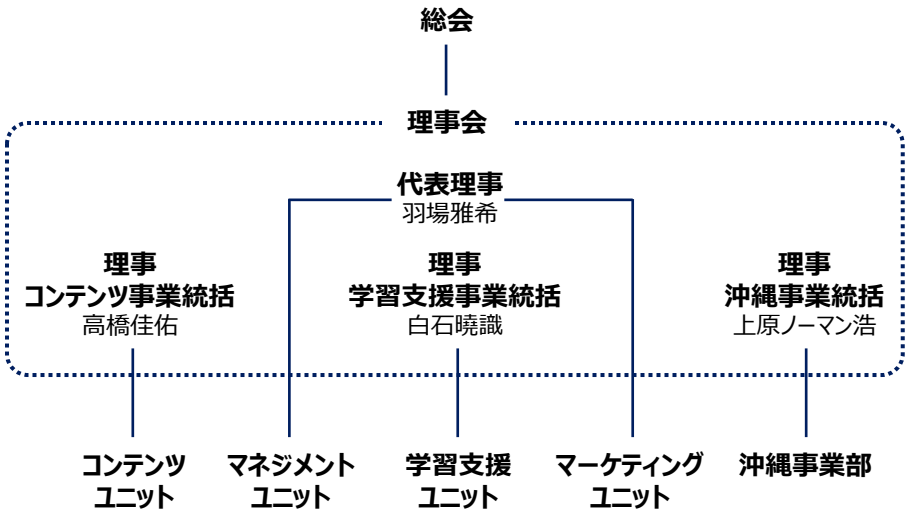
EDUCATIONAL LOUNGE

©2024 Educational Lounge All rights reserved.

運営母体

法人名	一般社団法人文華樹
代表者	代表理事　羽場雅希
所在地	東京都千代田区神田佐久間町一丁目8番4号　アルテール秋葉原708
設立	2023年3月7日
事業内容	進学指導事業（大学受験指導、高校受験指導） メディア事業（Webメディア運営・支援、書籍執筆） 伝統文化事業
主要取引先	株式会社Z会ソリューションズ 株式会社トライグループ 株式会社ブレーンバンク 学校法人成立学園

組織図



Vision　**「教育」を通じて、人々が文化を継承し、自らの未来を自分の手で切り開ける社会を実現する。**

私たちは、「教育」を通じて、人々が文化を継承するとともに自らの未来を自分の手で切り開くことのできる社会の実現を目指します。

塾・予備校という「受験が当たり前」の世界に長い間いると、忘れてしまいそうになるものがあります。それは、「受験は選択肢の一つにすぎない」という単純な事実です。私たちの活動を通して、我々の生きるこの世界にはさまざまな選択肢があるということをほんの少しだけでも感じ、それを通して「多様な選択肢の中で、自らの進むべき道を選択する」ということを念頭に、その決断を自分で下した意味を自分で掴んでもらえれば、これ以上ない喜びです。

私たち一般社団法人文華樹はこれからも、より広い意味での「教育」を通して自律性を養い、自らの人生を自らの手で切り開いていくことのできる人材の育成に邁進していきます。

Mission01　**知の伝達、知の継承。**

私たちは、青少年たちよりも少しばかり先を生きる者として、多くの受験生を見てきた者として、そして何より私たち自身が先人たちに導いてもらってきた者として、手にしてきた良き物を次世代へと継承する役割を担うと同時に、知の継承者として自分たちも常に新たな知を継承していく姿勢を持ち続けていきます。

Mission02　**払暁の牽引者となる。**

払暁とは夜明けのこと。私たちは、次世代を担う青少年たちが自らの未来を自らの手で切り開いていくための淵源となるべく、ほんの少し先の未来を見据えつつ、これまで見落とされてきた古くて新しい価値の再発見・深化創造を目指していきます。

Mission03　**青少年たちの澪標に。**

澪標は古来、水深の浅い港や川岸などで船の航路を示す目印となり、また、和歌の中ではよく掛詞として用いられてきました。私たちは、青少年たちの道標となることを目指しつつ、掛詞としての「身を尽くし」に表れた決意と重なりながらも新しい、さらなる意味を込めることができる存在を目指して邁進していきます。

©2024 Educational Lounge All rights reserved.

ブランドアイデンティティー

Picture of Sender
法人側イメージ

Physique
ブランドの特長

「本当に信頼できる情報」の提供にこだわり、予備校講師を中心とした発信者が自らの指導経験やデータに基づいた情報を発信する。「入試で点数さえ取れれば良い」という価値観ではなく、本質的な情報を発信していく。

Personality
ブランドパーソナリティ

・論理的
・信頼できる
・高い専門性を持つ
・強い信念
・情熱的なコーチ

Educational Lounge
ブランドアイデンティティー

Relationship
ユーザーとの関係性

Educational Loungeの発信するコンテンツを通して、何をどのように学習すべきか明確になる。適切な学習観が養われ、誤った学習観が是正される。

Culture
文化・環境

曖昧な情報を提供するのではなく、自らの専門性・指導経験に基づき、ユーザーに信頼できる情報を届ける。受験勉強を通して人生と向き合う価値(Value）を提供する。

Reflection
ブランドのターゲット

志望校合格を目指して良質な情報を探し求める受験生とその指導者。自力で問題解決に取り組まざるを得ない高校生。

Self-image
セルフイメージ

Educational Loungeを指針として学習することで、「受験勉強」のイメージが変わり、モチベーションが維持されるのみならず、指導者にとっても価値あるコンテンツとなり、教育・情報格差の是生、教育水準の底上げにつながる。

Externalization
外的要因

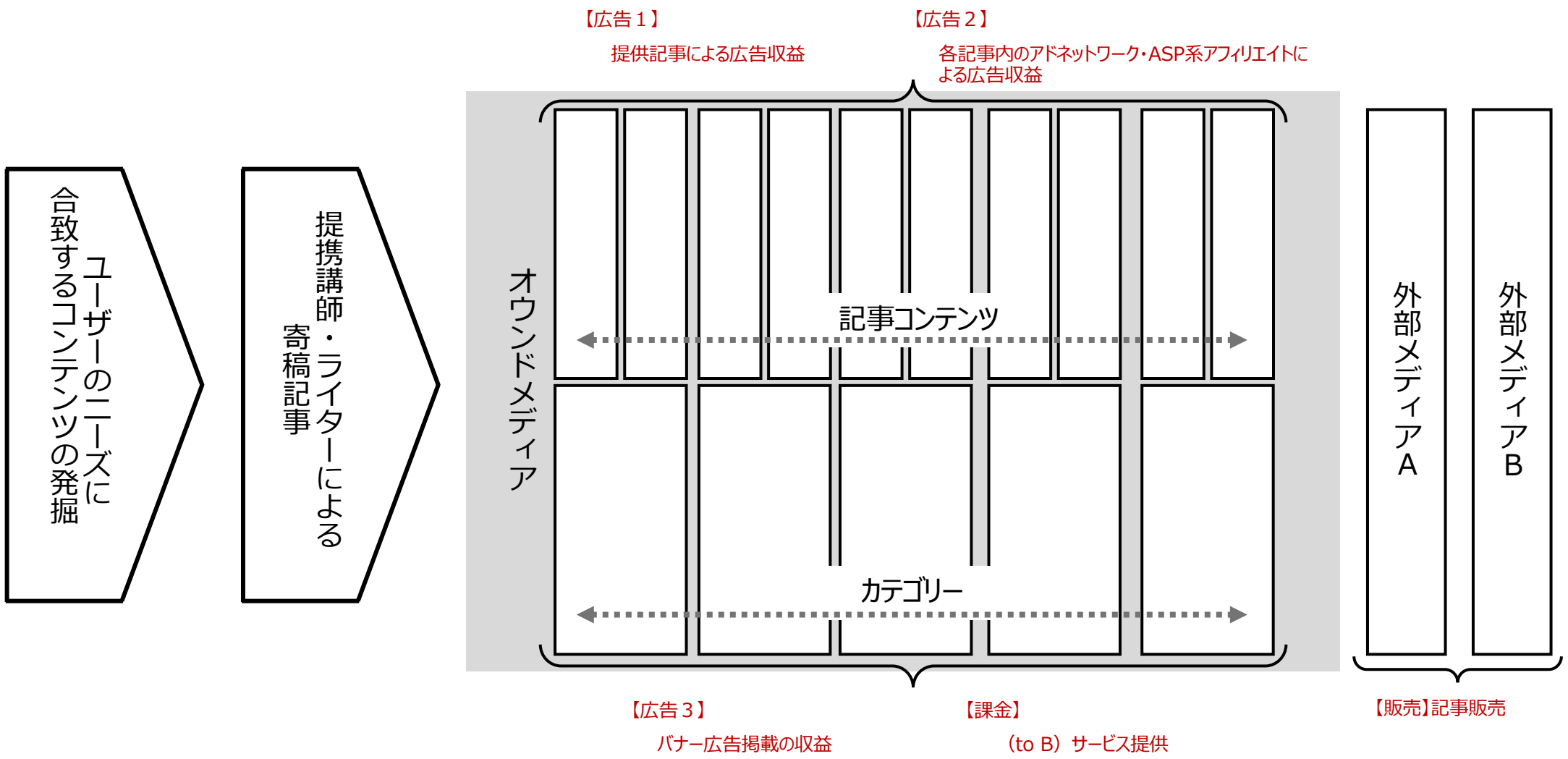
Internalization
内的要因

Picture of Receiver
ユーザー側イメージ

©2024 Educational Lounge All rights reserved.

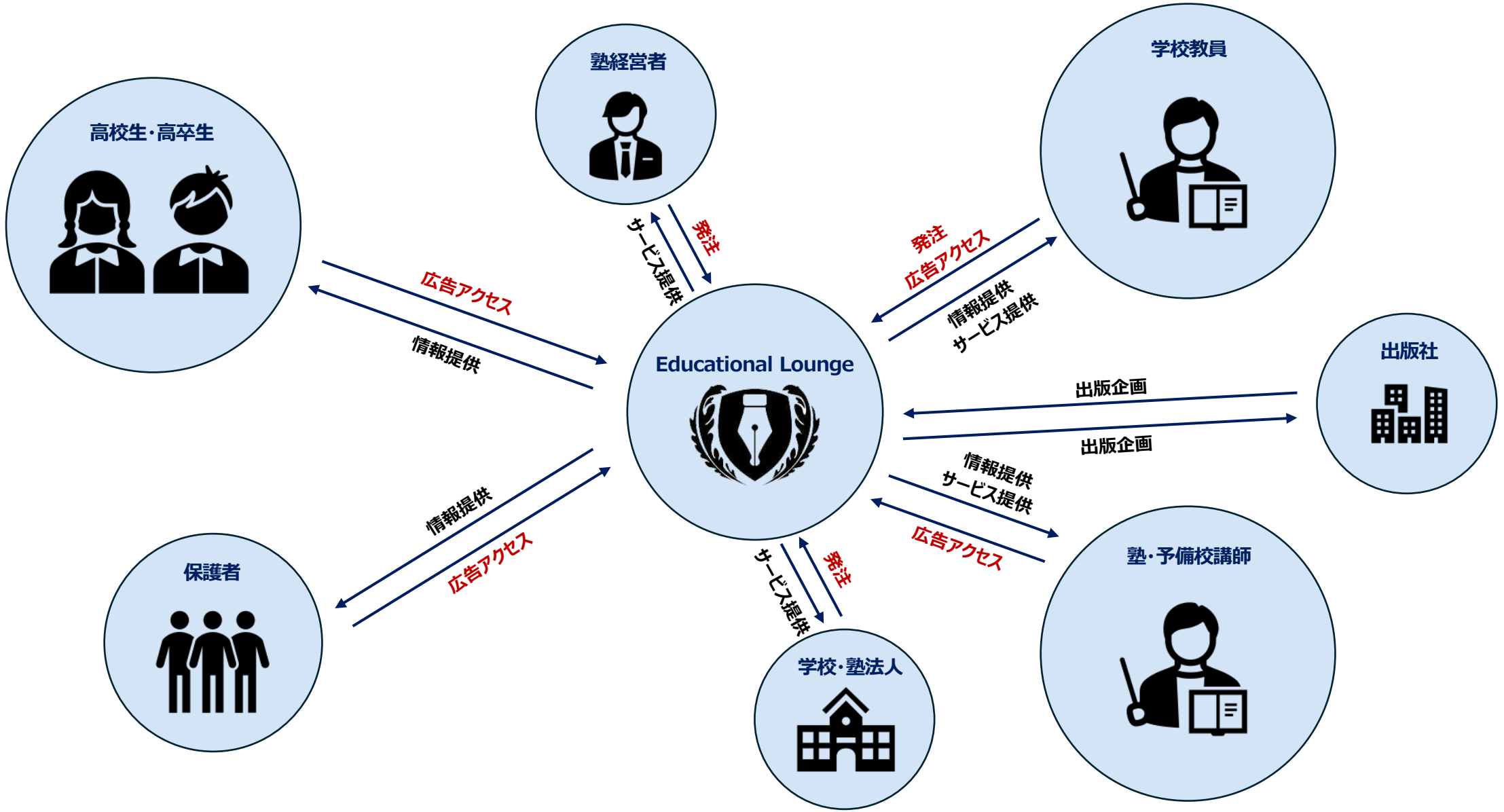
オウンドメディアのビジネスモデル

Educational Loungeはアドネットワーク・ASP系アフィリエイトを中心とした広告収入を主な収入源としつつ、販促ツールとして機能させていくことを目指します。



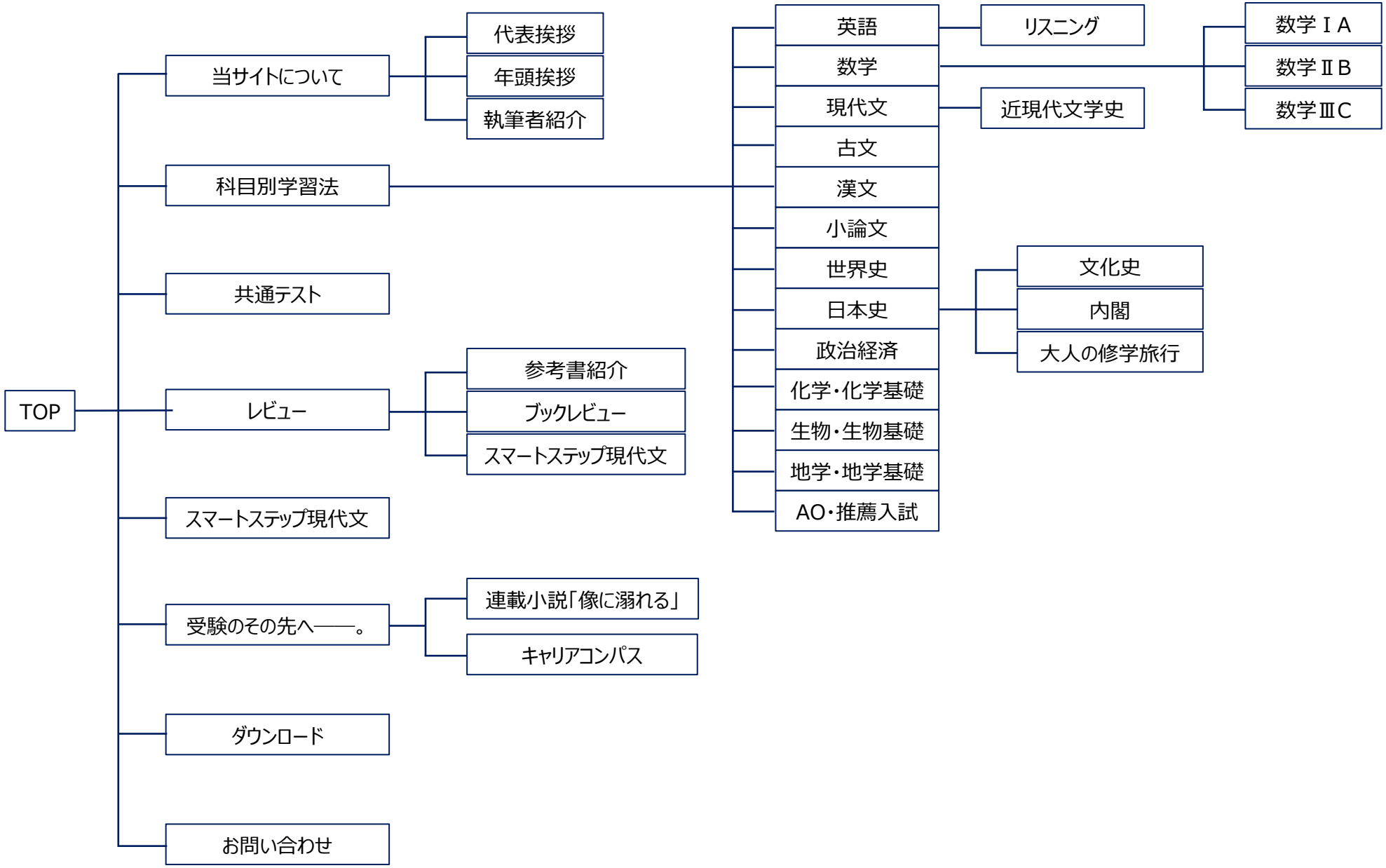
©2024 Educational Lounge All rights reserved.

ビジネスモデル：想定ユーザー層



©2024 Educational Lounge All rights reserved.

サイト構造

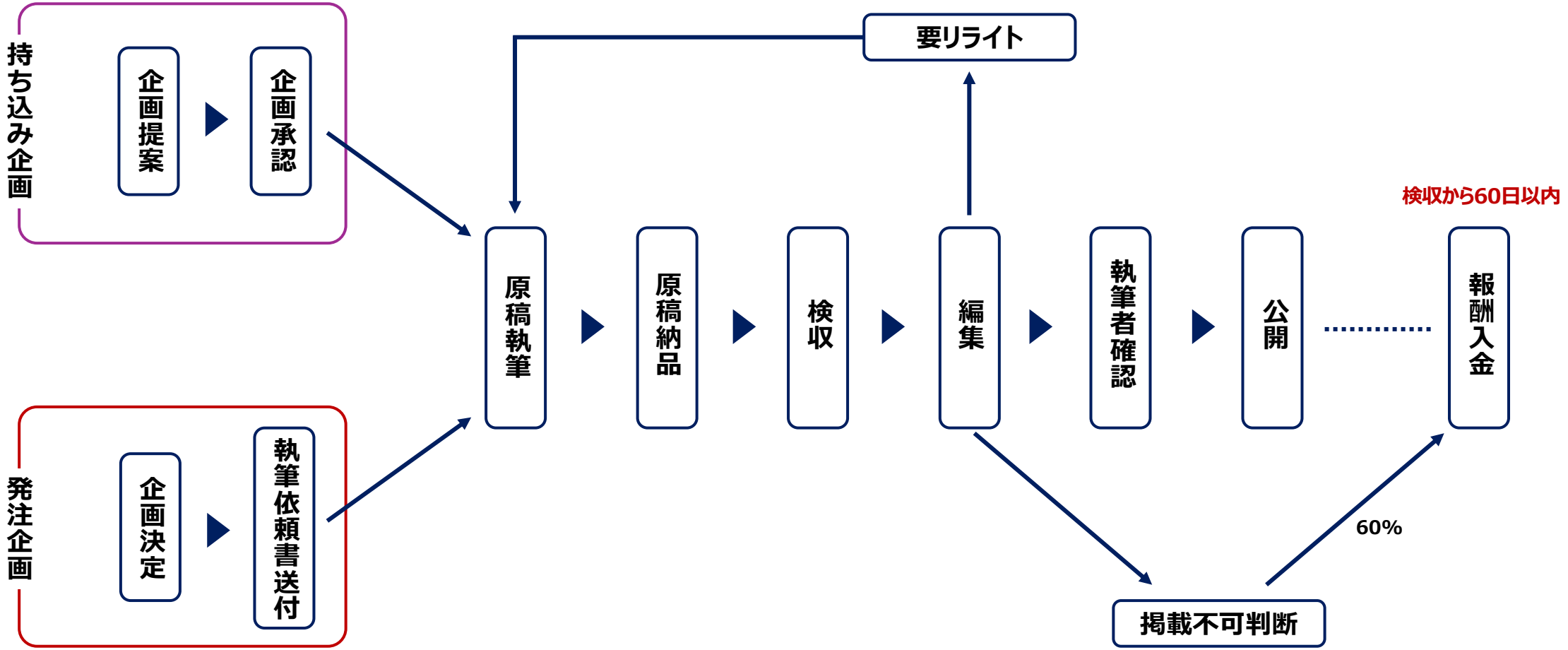


©2024 Educational Lounge All rights reserved.

記事執筆レギュレーション

©2024 Educational Lounge All rights reserved.

記事掲載フロー



©2024 Educational Lounge All rights reserved.

執筆時に意識していただきたいポイント

良質な記事を執筆していく際に、最低限意識していただきたいポイントは以下のとおりです。

- **■記事構成を考える**
- **■ユーザーの検索意図に沿った記事**
- **■各段落の構成はPREP法を基本にする**
- **■導入部に力をいれる**
- **■Tips・表記上のルールの遵守**

原稿を執筆する前に、目次を作るイメージで記事の全体構成を考えた上で執筆を進めていただくとスムーズです。
※アウトライナーやマインドマップが参考になるかもしれません。

ユーザーの求める問題解決を意識した記事構成

ユーザーは基本的に問題解決を求めて当サイトに辿り着いています。執筆の際はユーザーがなぜそのキーワードで検索をしたのか、どのような悩みがあってその記事に辿り着いたのかをイメージしてください。

たとえば、ある単元の学習法についての記事の場合、

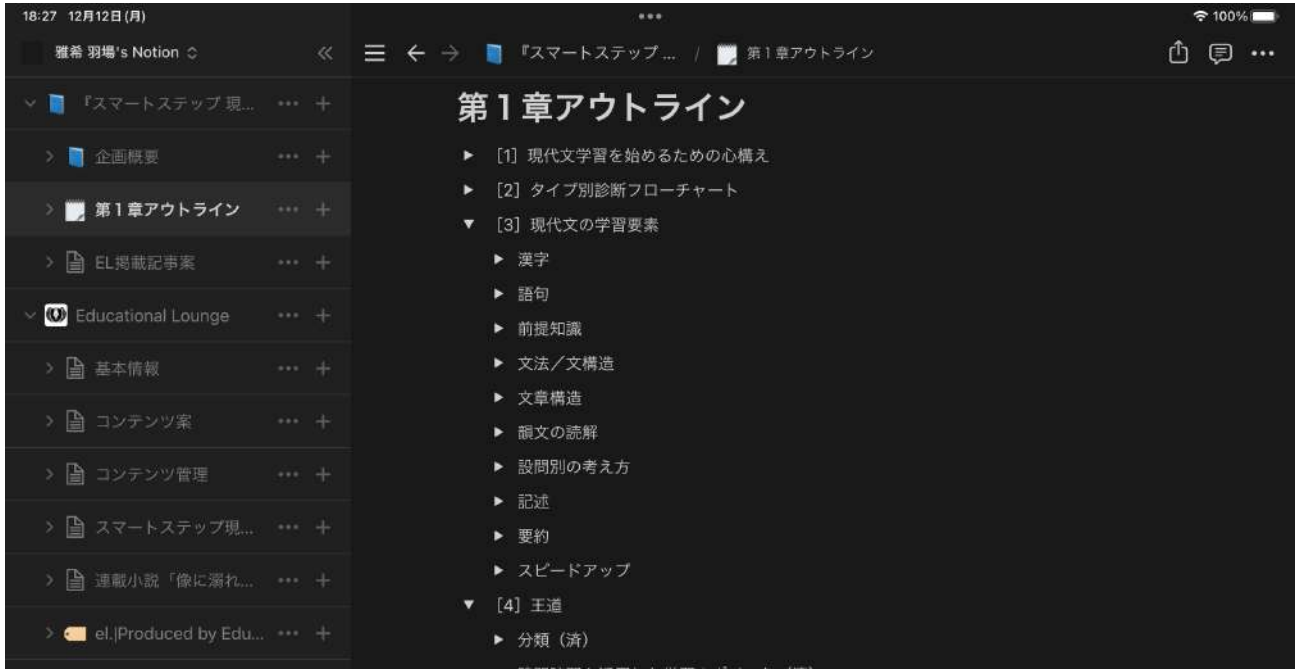
・「どんなイメージで勉強していけば良いのかわからない」

・「まず何を使えば良いかわからない」

などといった悩みが中心になるのではないかと思います。

したがって、「勉強していくイメージ」を中心にしつつ、時折「こういうことに陥りがちだから気をつけましょう」というスタンスで記事を構成していくとユーザーの離脱を防ぎやすくなります。

参考例：『スマートステップ現代文』執筆時のアウトライン



※これは参考書原稿ですが、Webでもイメージは同じです。

©2024 Educational Lounge All rights reserved.

構成はPREP法を基本にする・導入部に力を入れる

導入部に力をいれる

ユーザーの早期離脱を防ぐために、 記事の冒頭には必ず導入部を設けてください。

※簡潔なものが理想です。

導入部のチェックリスト

- ☑ 問題提起がなされている
- ☑ その問題に対して解決策があることを提示している
- ☑ その解決策が本当に有効であることの根拠・証拠を示している

最初の見出しよりも前の部分で記事の方向性を見せつつ、この記事を読むことで得られるベネフィットを想像させてください。

その際、読者の悩みを言い当てることができれば理想です。

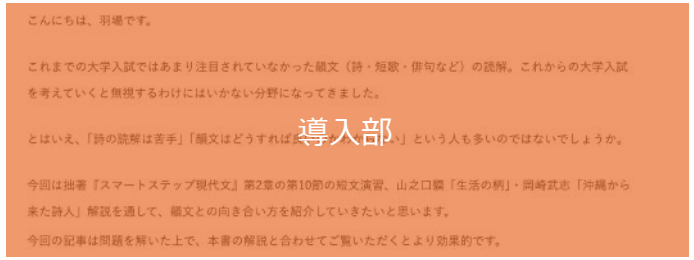
PREP法を基本にする

ユーザーは基本的に「求める情報が手に入るかどうか」を基準に記事を見ていきます。したがって、記事全体・見出しごとの構成の基本は「PREP法」を意識してください。

PREP法

P（Point）	主張・結論
R（Reason）	理由
E（Example）	主張の根拠・例示
P（Point）	まとめ・主張の再確認

イメージとしては**「まずは結論、つぎに論証、最後にもう一度結論」**です。記事内容によってはこの構成が難しい場合もありますが、原則として意識してください。



©2024 Educational Lounge All rights reserved.

Tips・表記上のルール

その他、細かいTipsならびに表記上のルールです。

■一文一義

一つの文には一つの事柄だけを入れる

■一文は60字以内で、読点は20字以内に必ず入れる

基本的に、長い文・文字ばかりが長く続く段落は読まれない傾向にあります。また、長い文は文構造がわかりづらくなることが多いため、文・段落は短めにすることを意識してください。
ただし、「文体」として、長い文が持ち味だと言えるケースもあります。その場合は文構造が明確になっていること、読みづらくなっていないことを確認するようにしていただければ幸いです。

■形容詞はできる限り数値化する

主観の多様は説得力の低下を招く。できなかったとしても考えるようにしてください。

■不要な接続詞を排除する

削除しても意味が通じる接続詞は全削除。ただし、理由・「このように・したがって・よって」・逆接等は残してもOKです。

■漢字の割合は30%以内に

もちろん例外はあります。あくまで目安として30%以内に収める工夫をしてください。

■各種記号・符号

……（リーダ）	…を２つ重ねる
――（ダーシ／ダッシュ）	―を２つ重ねる
「！」「？」の後	一字分あける

■略称以外、2桁以上の数字、英単語は半角

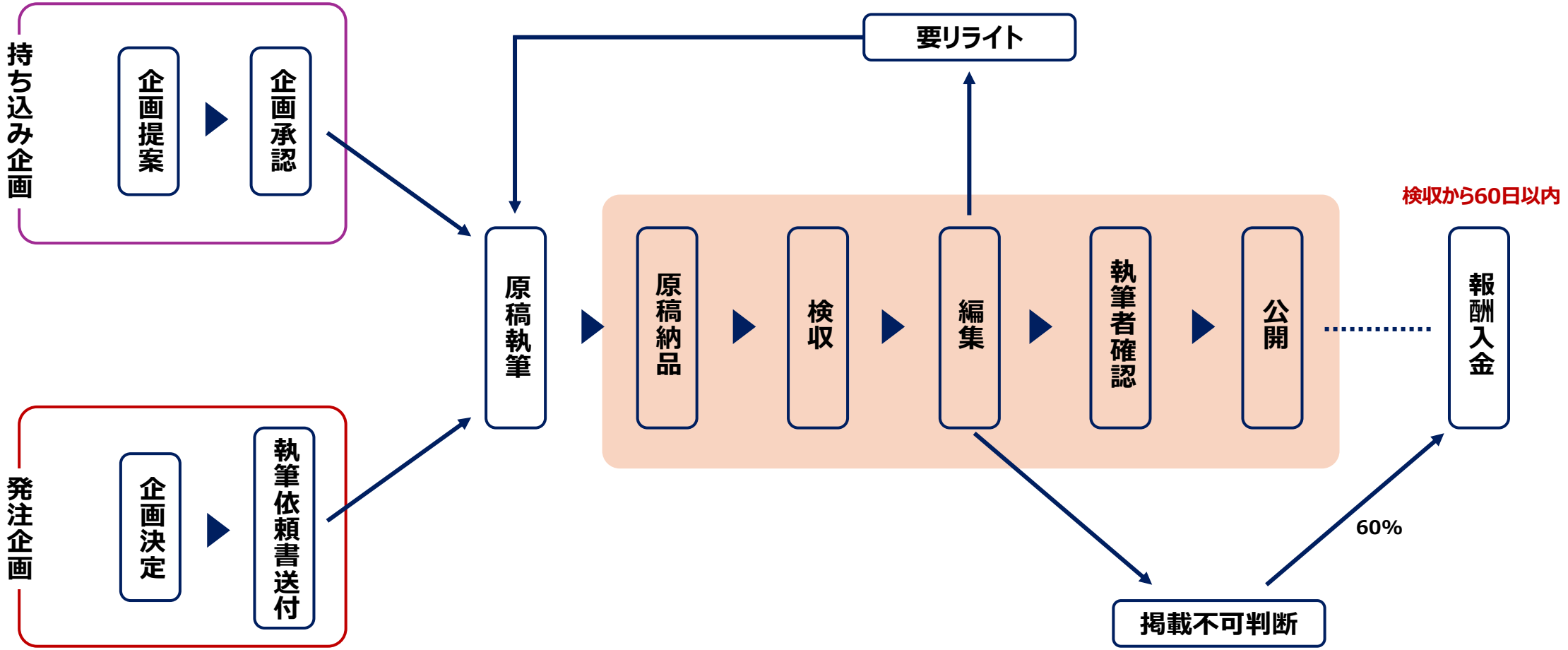
1桁の数字や略称・固有名称の場合は全角でOKです。（例）NPO法人／ＮＰＯ法人

©2024 Educational Lounge All rights reserved.

編集レギュレーション

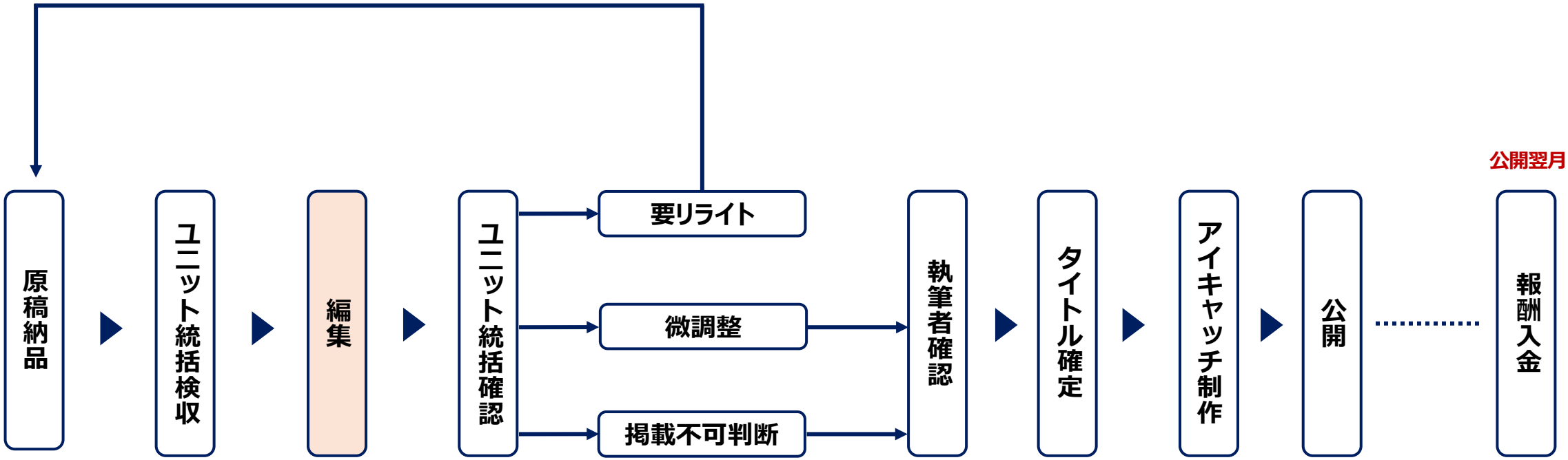
©2024 Educational Lounge All rights reserved.

公開までのフロー



©2024 Educational Lounge All rights reserved.

編集フロー詳細



編集時に行う作業

①仮タイトルの設定	編集時に仮タイトルを設定→公開直前に本タイトルの設定
②見出し（h2～h5）の設定	内容のまとまりごとに見出しを設定
③記事装飾	必要に応じて記事の装飾、画像を挿入。画像は写真ac（https://www.photo-ac.com/）、O-DAN（https://o-dan.net/ja/）等、商用利用可のもの
④内部リンクの充実	必要に応じて関連記事のリンクを挿入
⑤クオリティ・表記・ファクトチェック	編集時に随時、記事完成後に再度

©2024 Educational Lounge All rights reserved.

タイトルタグ(h1)の設定

記事編集時とリリース直前の２回、タイトルの検討を行います。

編集時

仮タイトル「●●●●（仮）」

記事内容から受けた印象をベースに仮でOK。
ただし、良タイトルはそのまま本採用する場合もあるため、この時点でSEO、
クリック率は意識したいところです。

タイトルのチェックリスト

- ☑ ベネフィットがストレートに伝わるタイトルになっているか
- ☑ 具体性があるタイトルになっているか
- ☑ 簡便性があるタイトルになっているか
- ☑ 32文字以内のタイトルになっているか

公開直前

本タイトル「●●●●（仮）」

PV数増を目指して編集者の案をベースにユニット統括の判断で確定。
初動・中期の動き次第で変更も検討。

タイトルタグはGoogle検索順位の向上とクリック率の向上に大きく影響します。
記事の魅力がストレートに伝わるタイトルをつけるように検討してください。

クリック率を高めるタイトル集

以下はクリック率を高める可能性がありますが、左のチェックリストが優先です。

- **「理由」というワードを入れる**
- **「方法」というワードを入れる**
- **数字を入れる**
- **「なぜ」から始める**
- **「0円」「無料」というワードを入れる**
- **ハードルが低いことを証明する**
- **「まとめ」「○○選」というワードを入れる**
- **「限定」というワードを入れる**
- **「比較」というワードを入れる**
- **「失敗」というワードを入れる**
- **読者に質問する**
- **「ヒント」というワードを入れる**

©2024 Educational Lounge All rights reserved.

見出し(h2～h5)の設定・内部リンクの充実

文章の内容・話題の展開を踏まえつつ、階層構造を意識して見出しを設定してください。

階層構造

h2タグ	章見出し
h3タグ	節見出し
h4タグ	小見出し
h5タグ	ほぼ使用しない。どうしてもという時だけ。

〔例〕 **公式の覚え方** ――抽象的すぎる

↓ 具体化

公式を勉強する際の基本姿勢は「面倒だから覚える」

見出しは「見出しだけでその段落の内容がわかる」のが理想です。

内部リンクの充実

回遊率を上げるためにも、関連記事の内部リンクを挿入してください。

※不必要に内部リンクを貼る必要はありません。必要なところに挿入してください。

もし今そのような勉強をしているのなら，すぐにやめましょう。

少なくともあなたは今最も効率の悪い方法で勉強しています。

あわせて読みたい **場合の数・確率から考える、公式との向き合い方**

こんにちは。数学講師の大塚志喜です。 今回は，公式との向き合い方について「場合の数・確率」の分野を通して考えていきたいと思います。 場合の数・確率が苦手な人が多いのは「過剰に」公式に頼りすぎているから 「場合の数・確率」という分野は，その他の分野と比べて特に苦手な学生が多い分野だと感じていま…

©2024 Educational Lounge All rights reserved.

クオリティ・表記・ファクトチェック

編集中、記事のクオリティ・表記・ファクトの確認を行なってください。編集完了後にも再度実施します。

※ファクトチェックは最終的に執筆者にもお願いしますが、気になった箇所は調べてください。

クオリティ・表記・ファクトチェック時のチェックリスト

- ☑ 係り受けが不適切な箇所はないか
- ☑ 文章構成は読みづらさを感じないか
- ☑ 段落分けは適切か
- ☑ １文は60字以内、読点は20字以内になっているか
- ☑ 一文一義になっているか
- ☑ 誤字・脱字はないか
- ☑ 差別的表現・禁忌が含まれていないか
- ☑ 事実と異なる／主観的すぎる部分はないか（気になるところはないか）
- ☑ 自分がユーザーだったら最後まで読みたいと思えるか

表現上の注意点

■一文一義

一つの文には一つの事柄だけを入れる

■一文は60字以内で、読点は20字以内に必ず入れる

基本的に、長い文・文字ばかりが長く続く段落は読まれない傾向にあります。また、長い文は文構造がわかりづらくなることが多いため、文・段落は短めに編集します。ただし、「文体」として、長い文が持ち味だと言えるケースもあります。その場合は文構造が明確になっていること、読みづらくなっていないことを確認してください。

■不要な接続詞を排除する

削除しても意味が通じる接続詞は全削除。ただし、理由・「このように・したがって・よって」・逆接等は残してもOKです。

■漢字の割合は30%以内に

もちろん例外はあります。あくまで目安として30%以内に収める工夫をしてください。

■各種記号・符号

……（リーダ）	…を２つ重ねる
――（ダーシ／ダッシュ）	―を２つ重ねる
「！」「？」の後	一字分あける

■略称以外、2桁以上の数字、英単語は半角

1桁の数字や略称・固有名称の場合は全角でOKです。（例）NPO法人／ＮＰＯ法人

©2024 Educational Lounge All rights reserved.

Appendix

©2024 Educational Lounge All rights reserved.

一般社団法人文華樹　事業概要

Educational Lounge

2018年11月8日にオープンした大学受験生・指導者のためのWebメディア。「受験生たちの澪標に。」というコンセプトの下、日頃さまざまな場所で受験指導に当たっている現役の塾・予備校講師たちが、それぞれの専門科目の学習法や学習に役立つ解説記事を発信する。「不確かな情報」が氾濫する中で、「本当に信頼できる情報が手に入る場所」の確立を目指します。

授業・講演・学習支援事業

代表理事が予備校講師として活動してきた中で広がっていった講師のネットワークや知見を最大限活用しながら、各種授業・研修・講演会の企画・講師として講座の提供を行います。

私たち一般社団法人文華樹の会員の多くが塾・予備校で長年教壇に立って受験指導を行ってきました。そのため、進学に向けた学習支援の授業は私たちの最も得意とするところであり、これまで講師として培ってきたデータやノウハウに基づき、中学入試・高校入試・大学入試と、幅広い対象に対応した講義の提供が可能です。高等学校や中学校への出張講義も対応しています。

小論文添削指導 e-Lounge

近年必要性を増している小論文。効果的に学習していくためには信頼のおける指導者（他者）による添削が必要不可欠ですが、現場の先生方はただでさえ忙しく、丁寧に添削指導を行う時間・精神的な余裕がないという声を耳にします。また、「生徒の要望には応えてあげたいけれど、なかなか難しい」という声を聞く機会も増えてきました。

そこで、私たち一般社団法人文華樹ではそのような状況を改善すべく、法人向け小論文添削サービス「**e-Lounge**」を立ち上げました。現場の先生方の負担を極力軽減し、かつ効果的な小論文添削指導を行うことで受験生の希望する大学へ向けた、あるいは受験校の選択肢を増やすことにつながる小論文対策を実現します。

PICK UP

日々変化し続ける社会に生きる私たちの前には様々な選択肢が用意され、様々な可能性が開かれている。そんな「可能性」に生きる私たちは、無意識のうちに安直な選択をしてしまいがちなもの。受験生を応援するサイトだからこそ、この社会の中で「受験」を選択することの意味を問い直したい――。

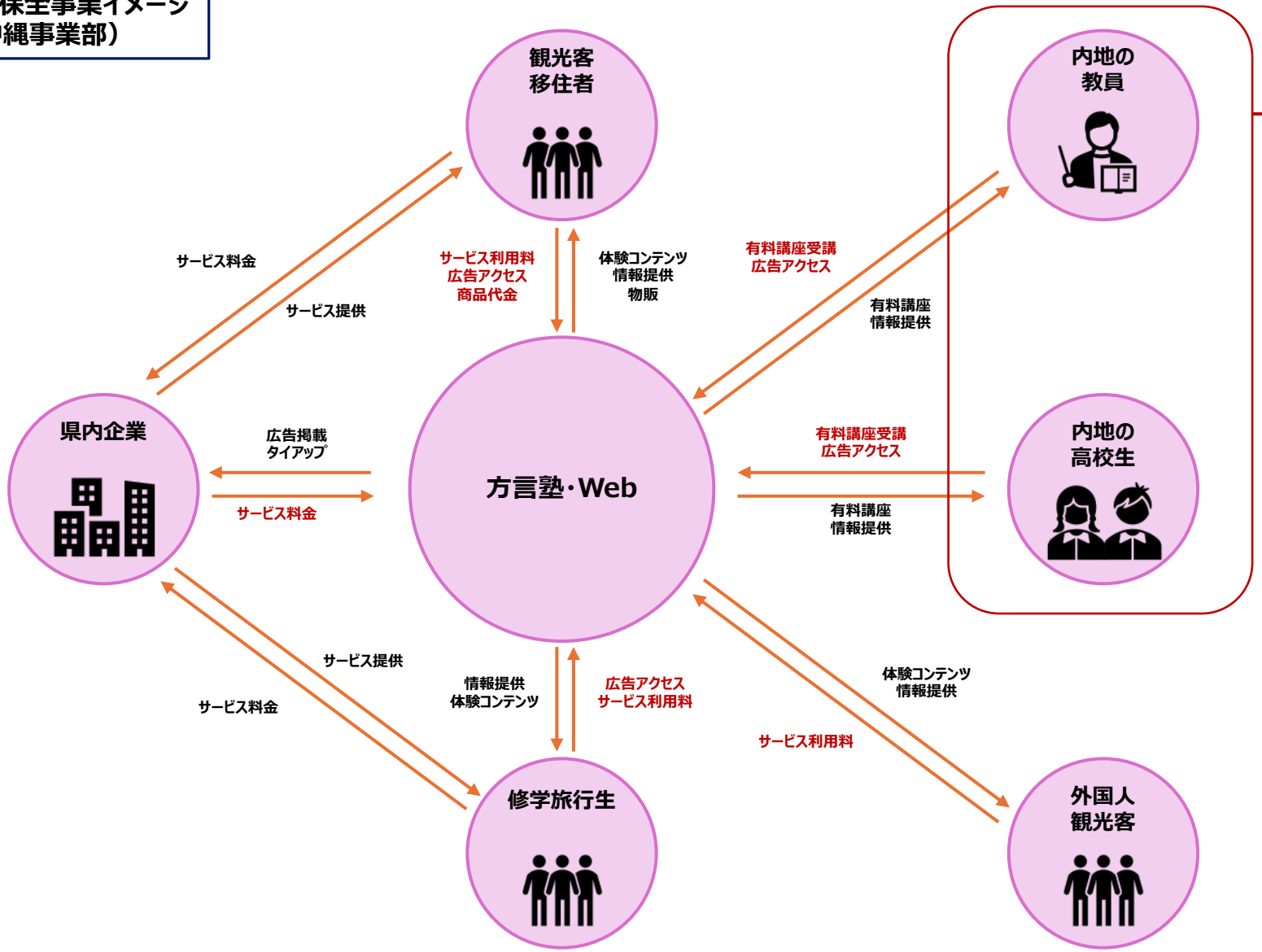
そうした思いから、興味深いストーリーを持つ方に対するインタビューを通して多様な生き方を提示する「Educational Lounge×Career Compass」。

2023年度はCareer　Compass第6回として、沖縄県北谷町を中心に、子どもの居場所支援の活動をしている任意団体「Cha-Ashibi」のみなさんに普段の活動や沖縄、子ども達に対する思いをお聞きしました。

第6回「遊びながら学ぶ、遊びの中に学びがある」

©2024 Educational Lounge All rights reserved.

伝統文化保全事業イメージ（沖縄事業部）

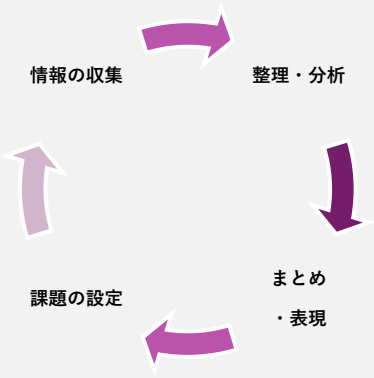


探究学習

探究学習は、2022(中学校は2021)年度より施行された新学習指導要領の目玉となる活動です。生徒自らが課題を設定し、解決に向けて情報を収集・整理・分析し、レポートやポスターなどにまとめて発表する学習活動。

小学校や中学校では総合的な学習の時間、高等学校では総合的な探究の時間などの科目において行われることが多いようです。

探究学習での生徒の活動



探究学習のテーマは、各学校が自由に設定することがるため、教員や生徒への情報提供・働きかけによって「方言」や「地域文化」「伝統文化」等をテーマに取り組む機会を創出することが可能です。

©2024 Educational Lounge All rights reserved.

活動へのご支援のお願い

私たち一般社団法人文華樹の活動は思いを同じくする皆様に支えられています。私たちの「『教育』を通じて、人々が文化を継承し、自らの未来を自分の手で切り開ける社会を実現する。」という理念に賛同してくださる方は、ぜひ応援していただけますようお願いいたします。

寄付によるご支援

継続寄付 **フェロー制度**

フェローは、月1,500円(1日50円)から継続的に活動をご支援いただく制度です。
出生や現状にかかわらず、人々が文化・教養を継承していく機会を創出していく活動をともに支えてくだされば幸いです。

※ 私たちは継続的にご支援いただいている皆様をフェローと呼んでいます。フェローの皆様には、当法人が主催するイベントや定期的な活動報告、単発ボランティアなど、さまざまな参画機会を設けています（ご参加は任意です）。

単発寄付 **任意のタイミングでのご寄付**

お好きなタイミングでお好きな額をご寄付いただけます。
領収書やご寄付の用途指定のご要望がございましたら、入金後にsupport@bunkaju.jpまでご連絡ください。

会員募集 **会員になる**

当法人の目的、事業にご賛同くださり、ともに活動してくださる方を募集しています。
各種別の会費は以下の通りとなっています。

(1)正会員	入会金：5,000 円	年会費：一口 10,000 円
(2)学生会員	入会金：2,000 円	年会費：なし
(3)法人賛助会員	入会金：5,000 円	年会費：一口 240,000 円
(4)個人賛助会員	入会金：2,000 円	年会費：一口 5,000 円

その他のご支援

人材募集 **プロボノ・インターン**

私たちとともに活動してくださるプロボノ・インターンとして働いてくださる方を募集しています。募集するポスト・内容・条件は随時更新してまいりますので、当法人の公式Webページをご覧ください。

企業・団体様によるご支援

協働 **協業・協働して活動する**

私たちと協働して、様々な形で活動を盛り上げて下さる企業様を募集しております。連携内容に関しては、ご相談の中でご対応していきたいと考えておりますので、お気軽にお問い合わせください。

法人寄付 **継続寄付 / 単発寄付**

当法人の目的及び事業内容に賛同し、運営を継続的に支えてくださる企業様を募集しております。 継続寄付は、月１万円からお願いしております。継続してご寄付いただける企業様は当法人ホームページへの企業名の記載（希望企業様）や活動報告のご送付、ご要望に応じて様々なプログラムの実施をいたします。
※なお、継続中止はメールにて随時承っております。

会員募集 **会員になる**

当法人の目的、事業にご賛同くださり、ともに活動してくださる企業・団体様を募集しています。法人賛助会員の会費は 入会金：5,000 円　年会費：一口 240,000 円　です。

©2024 Educational Lounge All rights reserved.

Educational Lounge

受験生たちの澪標に。

https://www.educational-lounge.com/